

おうめしろばら

第16号 令和3年3月
発行：青梅市明るい選挙推進協議会
青梅市選挙管理委員会
TEL 0428-22-1111(代)

青梅市の有権者数：男 56,807人
女 56,432人
合計 113,239人
(令和3年3月1日現在)

青梅総合高校出前講座「選挙の話をしよう！」 令和3年1月5日

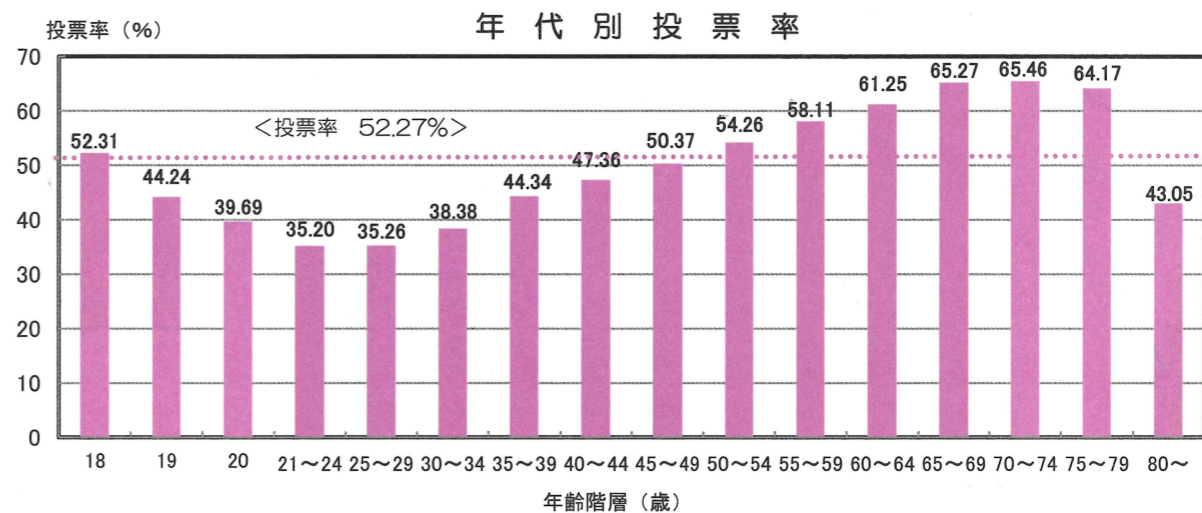


「青梅市生涯学習まちづくり出前講座」において、青梅総合高校で高校3年生を対象に、選挙の講座および模擬投票を実施しました！

青梅市選挙啓発キャラクター「おうめいすいくん」

令和2年7月5日執行 東京都知事選挙

| | 当日有権者数 | 投票者数 | 棄権者数 | 投票率 | 前回投票率 H28.7.31 |
|---|----------|---------|---------|--------|-------------------|
| 男 | 56,437人 | 28,950人 | 27,487人 | 51.30% | 57.59% |
| 女 | 56,141人 | 29,894人 | 26,247人 | 53.25% | 59.30% |
| 計 | 112,578人 | 58,844人 | 53,734人 | 52.27% | 58.45% |



東京都知事選挙結果

令和3年7月4日 東京都議会議員選挙

私たちの未来を決める大切な一票です。
棄権をせず投票しましょう。



私は今回、初めて東京都知事選挙の立会人をさせていただきます。
選挙当日、朝早くから長い時間立会人として携わり、準備や片付けまで行っていることに驚きました。今回は選挙の立会人を終えてみて、全体的に若年層の投票が少なくと感じました。また、少しでも選挙を身近に感じることができ、とても良い経験になりました。選挙の大切さや必要さをたくさんの方が理解し、投票される人が増えれば良いと感じました。

選挙の立会人をしてみて

青木 万都里 19歳

しろばら編集委員

| | |
|-------|--------|
| 青梅地区 | 並木 明 |
| 長淵地区 | 中村 佐内 |
| 大門地区 | 牧 英友 |
| 梅郷地区 | 太田 順一 |
| 沢井地区 | 堀 美江 |
| 小曾木地区 | 川村 文男 |
| 成木地区 | 小山 結花里 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |
| 立川 | 勝己 |

◎は編集委員長

しるばら16号、長年の夢がかなった。初のカラー版でお届けします。さて、昨年度から世界に拡大しているウィルス COVID-19、かくも長期にわたり、世界の随所に負の影響をもたらしています。日本では、社会的弱者となり生存権さえ脅かされ、そのあげく困窮・自死に至る痛ましい例が極めて増加しています。日頃我々は政治を意識しているとは言えませんが、経済やその傘下で営まれる生活を維持する役目をも政治は担っています。そして選挙こそが、その担い手を演出するうえで、重要な我々のもつ権利であります。

編集後記

令和2年度明るい選挙ポスターコンクール青梅市審査賞

市内の小・中学生から応募があった59点の作品の中から、3点が青梅市審査賞に選ばれました。

小学生



濱畑 花凜さん (一小・3年)



中学生



村田 知憲さん (西中・2年)



小野崎 綾香さん (西中・2年)

2020年度は「西中学校」と「泉中学校」が、明るい選挙ポスターコンクール協力校として東京都から選ばれました。



令和3年度のポスターコンクールは、5月～9月ごろに作品の応募受付予定です。たくさんの御応募お待ちしております！



令和二年を振り返って

選挙管理委員会
委員長 川鍋 信夫

昨年は全世界で新型コロナウイルスによる疫病が蔓延し、日常生活に甚大な被害を及ぼしただけでなく、経済面でも大打撃を受けた年となりました。

感染防止の観点より、選挙関連の行事も相次いで中止となり、三月に予定されておりました明るい選挙推進協議会様主催による講演会「五日市憲法草案」が受講出来なかった事は、誠に残念で、記憶に新しいところです。

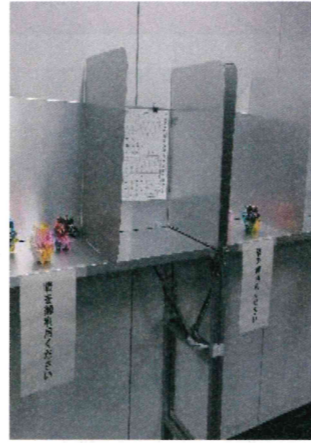
昨年青梅市で唯一執行されました都知事選挙では、期日前投票より七月五日の投票日まで、大きな不安がありました。事務局職員および応援スタッフの方々の創意工夫により無事に執行された事は、特筆に値します。

さて、世界的な傾向とされております若年層の低投票率の問題ですが、私見といたしまして、やはり小中学生の時期より今以上に、身近にある地域の諸問題に関心を持つ機会を与え、世の中の出来事(＝政治)

は、自分達の日常生活の中にあると自覚を醸成する事が長期的な見地よりみて必要と考えます。短絡的ですが、自治会加入率の低迷と低投票率とは、無関係とは思えません。

私共選挙管理委員(補充員を含め八名)は事務局と連携しつつ、緊張感を持って公正な選挙を維持し、引き続き前記の問題に関心を持って参ります。協議会の皆様の引き続きの啓発活動をお願いする次第です。

市の選挙啓発キャラクターの「おうめいすいくん」がさらに市民の身近な存在となれば幸いです。末筆ながら、しるばら編集委員の皆様のご苦労に衷心より感謝申し上げます。



建物考その一・東京都庁舎

明るい選挙推進協議会
会長 坂口 芳文

今年度は新型コロナの影響で、本来行わべき選挙啓発活動のほとんどが中止となった異例の年度でありました。明るいニュースが少ない中で、事務局の努力で本紙面がカラー化したことは嬉しい限りであります。カラー化したことで、選挙ポスターがカラーで掲載ができるようになりました。今後、ポスターコンクールに小中学生の応募が増えることを期待しています。

さて、今年度は都知事選が執行されました。紙面がカラー化したことも有り、これを活かす記事をと考え、東京都庁舎の建物について考察してみたいと思います。現在新宿にある都庁舎は国立代々木競技場を設計した故丹下健三氏によるものですが、この庁舎は平成二年に完成していますので、かれこれもう三十年経っています。若い有権者の方は旧都庁舎がどこに建っていたか、ご存じない方も多いと思いますので、写真付きで紹介いたします。現在、有楽町のすぐ傍に「東京国際フォーラム」が建っていますが、かつてこの場所に旧庁舎の第一本庁舎が建っていました。この建物の設計も丹下氏で、当時としてはモダンな建物でした。現在の都庁の建設費用は当時の金額で約千六百億円かかっており、その形状はフランスのノートルダム大聖堂を引用しているともいわれています。さて、都知事はこの45階建ての7階で執務されており、立派な建物に負けない都政をお願いしたいと思います。



旧・東京都庁第一本庁舎